

様式③-1

平成30年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(継続事業): 事業地区・箇所別概要(1)

1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名
		高度水利機能確保基盤整備事業	野田
②事業担当課	課CODE	担当課	担当班
	140130	農業基盤整備課	国営調整水利班
			電話番号
			059-224-2554
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・準過疎・過疎)	市町字名
	40	津・久居 市部 一般	津市 野田
④事務事業名	高度水利機能確保基盤整備事業		
⑤基本事業名	農業生産基盤の整備・保全		
⑥公共事業評価システムにおける分野名	食の安定供給		

2 事業の概要

事業の概要			
農業用水施設	6.0km	事業採択	2012年度
暗渠排水	5.0ha	事業着工	2012年度
		事業完了	2020年度
		供用開始	2021年度
		全体計画事業費(億円)	5.219
		全体計画工期(年数)	9年
事業の目的			
農業用水路や暗渠排水の整備により、営農の省力化を図り、担い手への農地の集積を図る。			

3 事業計画の進捗状況

評価実施年度	平成29年度	前回評価	
評価結果 (優先度判定の結果)	I	特記事項	
事業進捗率	2016年度までの事業進捗率 72.2%	2017年度完了までの事業進捗率	83.0%
		実施済み総事業費 (億円)	4.33
事業進捗率の算定式 [進捗率=実施済み総事業費/計画事業費×100]			
農業用水施設	4.7km		
暗渠排水	2.3ha		

4 公共事業の再評価実施の必要性

下記2基準に基づく今年度の再評価の必要性 (該当する項目の前に○印)		必要である
	○	必要でない
1. 三重県公共事業再評価実施要綱による対象事業判定(該当する項目にチェックする)		
<input type="checkbox"/>	①事業採択後5年間を経過した時点で未着工の事業	
<input type="checkbox"/>	②事業採択後一定期間(5~10年)を経過した時点で継続中の事業	
<input type="checkbox"/>	③再評価実施後一定期間が経過している事業	
<input type="checkbox"/>	④社会経済状況の急激な変化等により再評価を実施する必要性が生じた事業	
2. 公共事業の見直し基準による対象事業判定(該当する項目にチェックする)		
<input type="checkbox"/>	①社会経済情勢の変化により、住民ニーズ、事業の主目的が喪失したもの及び事業効果が著しく低下した事業 □事業の主な目的を喪失した事業 □需要量の大幅な減少や停滞、費用の大幅な増加等により、計画の必要性や効果について合理的な説明が困難となった事業	
<input type="checkbox"/>	②代替案検討の結果、代替案のほうが有利な事業 ・目的達成のため他の代替的手段の方が効率的・効果的な事業	
<input type="checkbox"/>	③事業採択から5年以上経過して、下記の理由等から事業進捗を阻めない事業 □用地買収に対する反対等により、事業進捗が3年以上停滞しており、今後解決が見込めない事業 □主体となる関連他事業の事業計画の進捗が見込まれないため、当該事業の進捗が3年以上停滞している事業 (ただし、今後2年以内に関連他事業が伸展する場合はこの限りでないものとする)	

5 公共事業再評価審査委員会の結果

再評価審査の結果 (該当する項目の前に○印)	継続
	中止
再評価審査の結果概要	

様式③-2

平成30年度 当初予算 公共事業評価システム 個別サマリーシート(継続事業)：事業地区・箇所別概要(2)

1 事業の基本データ

①計画事業名	事業CODE	事業名	地区・箇所・路線名	
		高度水利機能確保基盤整備事業	野田	
②事業担当室	室CODE	担当室	担当グループ	電話番号
	140130	農業基盤整備課	国営調整水利班	059-224-2554
③事業施工場所	CODE	地域(市部・郡部/一般・過疎・準過疎)		市町村字名
	40	津・久居	市部 一般	津市 野田

2 継続事業の重点化評価

(a) 事業の熟度 (A)

事業環境【全分野共通要件】

評価点

1	円滑な事業実施が可能な事業	1
2		

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

地元農家組織等関係機関との協議・調整が完了しており、円滑な事業実施が可能である。

(b) 事業の熟度 (B)

延伸可能性【全分野共通要件】

I	短期的に事業の延伸が困難な事業	1
II		

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

地域営農に関して早期の効果発現が求められている。

(c) 事業の戦略性

【全分野共通要件】

1		0
2		
3		

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

「農業の振興」の施策展開をするにあたり、農業生産基盤の整備目標を達成するために取り組む事業である。

(d) 事業の緊急性

【全分野共通要件】

1		0
2		

(当該事業分野の事項)

I		1
II		
III	営農体制や維持管理体制が確立されており、継続的安定的な農業が実施されている地域での整備	
IV		
V		
VI		
VII		

(具体的な内容の記述<上記の補足事項>)

地元農家組織等を中心として、営農面、維持管理面への取り組みがなされ、稲作経営を主流とした農業地域である。

【評価結果(優先度判定の結果)】

B	評価方法 A=0の場合：Dランク ・ A=1の場合：A+B×(C+D)により区分(3：Aランク・2：Bランク・1：Cランク)	2
---	--	---